

令和 2 年 度

宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

宮崎市監査委員

宮 監 第 8 1 号
令和3年9月17日

宮崎市大字折生迫財産区財産管理者
宮崎市長 戸 敷 正 殿

宮崎市監査委員 河 野 まつ子
宮崎市監査委員 荒 木 敏
宮崎市監査委員 森 太
宮崎市監査委員 黒木 恒一郎

令和2年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和2年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算について、次のとおり意見を提出します。

目 次

大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 種	類	1
第2 対	象	1
第3 主	な 実 施 手 続	1
第4 期	間	1
第5 審	査 の 結 果	1
第6 審	査 意 見	1
第7 決	算 の 概 要		
1 特	別 会 計		
(1)	決 算 収 支 の 状 況	2
(2)	歳 入	2
(3)	歳 出	5
2 財	産 の 状 況	7

凡 例

- 1 文中及び表中の金額は、原則として円単位で算定し、千円未満を四捨五入して表示する。従って、金額の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 2 表中の金額は、原則として百万円未満を四捨五入して表示する。
- 3 文中及び表中の比率は、原則として円単位で算定し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示する。従って、比率の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 4 表中のポイントは、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」又は「0.0」……該当数値はあるが、単位未満のものも含む。
 - 「－」……該当数値がないか、又はあっても比率が10,000%以上のもの。
 - 「△」……負数を示し、増減を示すときは減を表す。
 - 「皆増」……前年度、該当数値がなく比率が出せないもの。
 - 「皆減」……本年度、該当数値がなく比率が出せないもの。

令和2年度 宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 種類

地方自治法第233条第2項に基づく決算審査

第2 対象

令和2年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算

第3 主な実施手続

宮崎市監査基準第15条及び第16条に基づき、令和2年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計の歳入歳出決算書及び決算書附属書類について、関係法令に準拠して作成されているか又それらの計数が正確であるかを確認するとともに、試査により、各種帳簿、証書類及び提出された関係書類と照合した。

併せて、予算の執行状況及び決算の内容について、関係職員から説明を聴取するとともに、年度比較によって推移の分析を行うなどの方法により審査した。

第4 期間

令和3年8月4日から令和3年9月17日まで

第5 審査の結果

令和2年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算書及び決算書附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつその計数は正確であり、予算の執行及びこれに係る財務会計事務の処理はおおむね適正であると認めた。

第6 審査意見

令和2年度は、財産区有地の売却や分収林の伐採及び青島ビーチサイド活性化プロジェクトに伴う土地貸付等による収入の確保に努めたほか、財産区有の土地や直営林、墓地の適切な維持管理を行った。

令和2年度の決算額は、歳入総額が2,929万6千円、歳出総額が2,572万2千円で、前年度に比べ歳入が1,323万7千円(82.4%)、歳出が1,253万4千円(95.0%)ともに増加している。主な要因は、歳入において土地貸付収入が、歳出において宮崎市大字折生迫財産区基金への積立金が、それぞれ増加したことによるものである。その結果、実質収支額は357万3千円となり、前年度に比べ70万2千円(24.5%)増加した。歳入の予算現額に対する収入率は99.5%、調定額に対する収入率は99.4%である。歳出の予算現額に対する執行率は87.4%で、不用額371万3千円は前年度に比べ189万9千円(104.7%)増加している。今後引き続き、歳入・歳出のよりの確な積算に努めるとともに、適正な執行を図られたい。

財産管理事務については、財産区有地に放置されていた空家の解体撤去工事を実施するなど、財産の適正な維持管理に努めた。

なお、令和元年度以降、宮崎市大字折生迫財産区基金からの繰入金はない。これは、青島ビーチサイド活性化プロジェクトに伴う土地貸付収入が増加し、さらに、財産区有地であった旧青島地域センター敷地の一部売却益などがあったためである。その結果、令和2年度は、基金に1,400万円を積立てることができ、令和2年度末における基金の残高は、6,650万円

となった。

今後も継続的な土地貸付収入が見込まれることから、地方自治法第 296 条の 5 第 3 項の規定に基づき、収入の一部を宮崎市が実施する青島地域利便性向上事業に充てることが令和 3 年 3 月の財産区議会で議決され、令和 3 年度予算から宮崎市への繰出金として予算計上されている。

引き続き、財産の有効活用を図りながら、適正な予算執行に努め、持続可能な財政運営を実現されたい。

第 7 決算の概要

1 特別会計

(1) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2年度	元年度	増 減	増減率
歳 入 総 額 (A)	29,296	16,059	13,237	82.4
歳 出 総 額 (B)	25,722	13,188	12,534	95.0
歳入歳出差引額 (C) (A) - (B)	3,573	2,871	702	24.5
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	—
実 質 収 支 額 (E) (C) - (D)	3,573	2,871	702	24.5

- ・歳入総額は 2,929 万 6 千円 (前年度比 1,323 万 7 千円、82.4%増)、歳出総額は 2,572 万 2 千円 (同比 1,253 万 4 千円、95.0%増) であり、歳入、歳出ともに前年度に比べ増加している。
- ・歳入歳出差引額 (形式収支) 及び実質収支額は、ともに 357 万 3 千円 (同比 70 万 2 千円、24.5%増) となっている。

(2) 歳 入

歳入の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
2	29,435	29,477	29,296	0	182	99.5	99.4
元	15,002	16,241	16,059	0	182	107.0	98.9
増 減	14,433	13,237	13,237	0	0	△ 7.5	0.5
増減率	96.2	81.5	82.4	—	0.0	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して 99.5%、調定額に対して 99.4%である。

- ・収入済額 2,929 万 6 千円は、前年度に比べ 1,323 万 7 千円(82.4%)増加している。これは、諸収入が 121 万 8 千円 (△100.0%)、繰越金が 24 万 3 千円(7.8%)減少したものの、財産収入が 1,379 万 9 千円(117.7%)、使用料及び手数料が 89 万 9 千円増加したことによるものである。
- ・収入未済額 18 万 2 千円は、前年度と同額である。

〈 款別の状況 〉

(款別収入済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

款	2年度	元年度	増減額	増減率	構成比率	
					2年度	元年度
5 使用料及び 手数料	904	5	899	—	3.1	0.0
10 財産収入	25,521	11,722	13,799	117.7	87.1	73.0
18 繰入金	0	0	0	—	0.0	0.0
20 繰越金	2,871	3,114	△ 243	△ 7.8	9.8	19.4
25 諸収入	0	1,218	△ 1,218	△ 100.0	0.0	7.6
計	29,296	16,059	13,237	82.4	100.0	100.0

第5款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
2	905	904	904	0	0	99.9	100.0
元	305	5	5	0	0	1.7	100.0
増減	600	899	899	0	0	98.2	0.0
増減率	196.7	—	—	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して 99.9%、調定額に対して 100.0%である。
- ・収入済額 90 万 4 千円は、前年度に比べ 89 万 9 千円増加している。これは、墓地の新規貸付が 3 件あったことによるものである。

第10款 財産収入

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
2	25,656	25,702	25,521	0	182	99.5	99.3
元	10,582	11,904	11,722	0	182	110.8	98.5
増減	15,074	13,799	13,799	0	0	0.0	0.0
増減率	142.4	115.9	117.7	—	0.0	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して 99.5%、調定額に対して 99.3%である。
- ・収入済額 2,552 万 1 千円は、前年度に比べ 1,379 万 9 千円 (117.7%) 増加している。これは、

主に青島プロジェクト株式会社への土地貸付により、土地貸付収入が 845 万円増加したことによるものである。

- ・収入未済額 18 万 2 千円は、前年度と同額である。これは、平成 30 年度に借受人の破産により、土地貸付収入が 18 万 2 千円未納となったものが引き続き、収入未済となっているものである。

第 18 款 繰入金

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
2	1	0	0	0	0	0.0	—
元	0	0	0	0	0	—	—
増 減	0	0	0	0	0	—	—
増減率	—	—	—	—	—	—	—

- ・予算現額は 1 千円、調定額、収入済額は、いずれも 0 円である。これは、土地貸付収入の増加等により、基金からの繰入の必要がなくなったことによるものである。

第 20 款 繰越金

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
2	2,870	2,871	2,871	0	0	100.0	100.0
元	3,113	3,114	3,114	0	0	100.0	100.0
増 減	△ 243	△ 243	△ 243	0	0	0.0	0.0
増減率	△ 7.8	△ 7.8	△ 7.8	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して 100.0%、調定額に対して 100.0%である。
- ・収入済額 287 万 1 千円は、前年度に比べ 24 万 3 千円 (7.8%) 減少している。

第 25 款 諸収入

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
2	3	0	0	0	0	4.0	100.0
元	1,002	1,218	1,218	0	0	121.6	100.0
増 減	△ 999	△ 1,218	△ 1,218	0	0	△ 117.6	0.0
増減率	△ 99.7	△ 100.0	△ 100.0	—	—	—	—

(※) 令和 2 年度の調定額、収入済額はともに 119 円。

- ・収入率は、予算現額に対して 4.0%、調定額に対して 100.0%である。
- ・収入済額 0 千円は、前年度に比べ 121 万 8 千円 (△100.0%) 減少している。これは、財産区有

林の下刈り作業に対して県から交付される補助金について、雑入として受け入れていたが、令和2年度から当該補助金を直接下刈り作業経費に充当することとなったため、雑入が121万8千円減少したことによるものである。

(3) 歳 出

歳出の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2	29,435	25,722	3,713	87.4
元	15,002	13,188	1,814	87.9
増 減	14,433	12,534	1,899	△ 0.5
増減率	96.2	95.0	104.7	—

- ・執行率は、予算現額に対して87.4%である。
- ・支出済額2,572万2千円は、前年度に比べ1,253万4千円(95.0%)増加している。これは、議会費が10万7千円、総務費が130万円減少したものの、諸支出金が1,394万1千円増加したことによるものである。
- ・不用額371万3千円は、前年度に比べ189万9千円(104.7%)増加している。

〈 款別の状況 〉

(款別支出済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

款	2年度	元年度	増減額	増減率	構成比率	
					2年度	元年度
10 議 会 費	1,533	1,640	△ 107	△ 6.5	6.0	12.4
15 総 務 費	5,228	6,528	△ 1,300	△ 19.9	20.3	49.5
20 諸 支 出 金	18,961	5,020	13,941	277.7	73.7	38.1
25 予 備 費	0	0	0	—	0.0	0.0
計	25,722	13,188	12,534	95.0	100.0	100.0

第10款 議会費

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2	1,693	1,533	160	90.5
元	1,715	1,640	75	95.6
増 減	△ 22	△ 107	85	△ 5.1
増減率	△ 1.3	△ 6.5	113.1	—

- ・支出済額153万3千円は、前年度に比べ10万7千円(6.5%)減少している。これは、交際費が7万円、報酬が2万2千円、旅費が1万5千円減少したことによるものである。

- ・不用額16万円は、前年度に比べて8万5千円（113.1%）増加している。主な要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、行事等が中止となり、交際費の支出がなかったことによる。

第15款 総務費

（単位：千円・%）

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2	5,470	5,228	242	95.6
元	6,603	6,528	75	98.9
増 減	△ 1,133	△ 1,300	167	△ 3.3
増減率	△ 17.2	△ 19.9	223.2	—

- ・支出済額522万8千円は、前年度に比べ130万円（19.9%）減少している。これは、墓地維持管理費が12万8千円、一般管理費が3万6千円増加したものの、財産区選挙費が96万6千円、財産管理費が49万7千円減少したことによるものである。主な要因は、財産区議員選挙がなかったことによる財産区選挙費の皆減によるものである。
- ・不用額24万2千円は、各費目の執行残である。

第20款 諸支出金

（単位：千円・%）

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2	18,962	18,961	1	100.0
元	5,021	5,020	1	100.0
増 減	13,941	13,941	0	0.0
増減率	277.7	277.7	0.0	—

- ・支出済額1,896万1千円は、前年度に比べ1,394万1千円（277.7%）増加している。これは、宮崎市への繰出金（負担すべき人件費相当分）が5万9千円減少したものの、大字折生迫財産区基金への積立金が1,400万円皆増したことによるものである。

第25款 予備費

（単位：千円・%）

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2	3,310	0	3,310	0.0
元	1,663	0	1,663	0.0
増 減	1,647	0	1,647	0.0
増減率	99.0	—	99.0	—

- ・予算現額は331万円で、予備費の充用はなかった。

2 財産の状況

財産の状況は、次のとおりである。

区 分	単位	前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
1 土 地 等	m ²	345,009.10	△ 165.00	344,844.10
墓 地	m ²	30,403.00	0.00	30,403.00
青島公園墓地 953区画				
白坂墓地 81区画				
五庵園墓地 5区画				
山 林	m ²	16,110.91	0.00	16,110.91
※ 山林(立木の推定蓄積量)	m ³	2,862.53	2.10	2,864.63
原 野	m ²	252,681.15	0.00	252,681.15
※ 原野(立木の推定蓄積量)	m ³	8,357.22	6.14	8,363.36
溜 め 池	m ²	3,064.00	0.00	3,064.00
宅 地	m ²	22,156.05	0.00	22,156.05
地 上 権 設 定 地	m ²	6,276.00	0.00	6,276.00
そ の 他	m ²	14,317.99	△ 165.00	14,152.99
2 出 資 に よ る 権 利	千円	883	0	883
宮崎中央森林組合出資金	千円	883	0	883
3 基 金	千円	52,500	14,000	66,500
折生迫財産区基金	千円	52,500	14,000	66,500

※土地等の合計には、山林及び原野の立木の推定蓄積量を含まない。

- ・土地等（山林及び原野の立木の推定蓄積量を除く）については、その他が 165.0 m²減少している。これは、一部が財産区有地である旧青島地域センター敷地を売却したことによるものである。
- ・出資による権利については、決算年度中において増減はなかった。
- ・基金の決算年度末現在高は 6,650 万円で、前年度末残高から 1,400 万円増加した。

